

# 体育科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
〇〇 〇〇

1 日時 平成23年11月〇日

2 学年・組 第3学年〇組

3 単元名 フラッグフットボール

## 4 単元について

### (1) 児童の実態

本学級の児童は、体を動かすことを好む児童が多く、休憩時間になると友達同士誘い合って鬼ごっこやボール遊びなどをする姿がよく見られる。その一方で、進んで外に出ようとしない児童もいる。

事前に行ったアンケートの結果、「ボール運動は好きですか」の問いに「はい」と答えたのは25人「いいえ」と答えたのは7人であった。好きな理由は「野球が好きだから」とか「サッカーが好きだから」という理由が多かった。好きではない理由は「苦手だから」とか「上手にできないから」ということだった。

新体力テストの「ソフトボール投げ」の結果を見ると、男子の平均が22m、女子の平均が11m、全体で16mであった。30m以上の児童が3人いるが、10m以下の児童が8人いて個人差が大きい。

子ども同士のかかわり合いという面では、励まし合ったり、声を掛け合ったりという場面が見られるが、技術的なことについてのアドバイスはまだ少ない。また、勝ち負けの結果だけにこだわってしまう児童も多い。

### (2) 教材観

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールのゲームの面白さを小学生の児童でも味わえるように考えられたゴール型の陣取りゲームである。タックルの部分が取り除かれ、腰につけたフラッグを取ることでそのプレーヤーがタックルされたことになり、一回の攻撃が終わるという工夫がされている。そのため安全に楽しむことができる。

「追う」「追われる」という要素が含まれており、「ボールを持った鬼ごっこ」と考えられる運動である。ボールを相手の陣地まで運ぶことができれば「攻撃が成功＝得点」となる。サッカーやバスケットボールと違い、ボールをドリブルしたり、シュートをしたりという難しい技術がないので、運動の苦手な児童にとっても、得点する喜びが、味わいやすい運動である。

また、攻守が区別されているので、攻撃の度に作戦を話し合い、作戦に基づいてゲームを進めることができる。作戦が有効だったかどうか確かめやすく、作戦を通して喜び合ったり、褒め合ったりするなどの友達とのかかわりを深めることができる運動である。

### (3) 指導観

指導に当たっては、フラッグフットボールの練習やゲームを通して身体を動かすことそのものの楽しさを味わう、仲間と協力しながらめあてに向かって課題を解決していくという大切さを学んでほしいと考える。そのために作戦づくりを中心とした指導を行っていく。

#### ① チームの編成

- ・ 1チーム男女混合4名8チームとする。そのうち2チームずつペアチームとなり協力し合う。
- ・ ゲームに出ない児童はコートの外から応援、カードの記入、声かけをする。

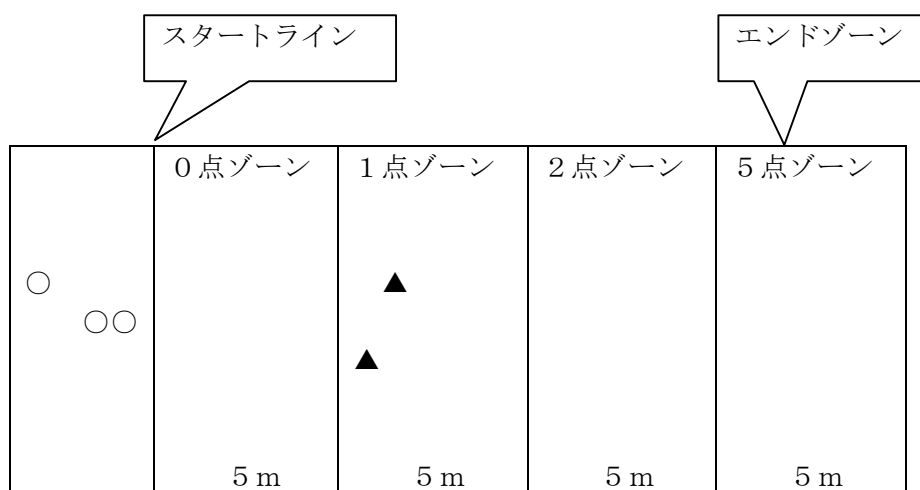
#### ② ルール

- ・ 守備の人数を一人減らして3対2で行う。
- ・ 攻めのチームは、スタート位置からプレーを始める。

- ・ ハンドオフやフェイクなどの「ランプレー」だけを使って、高得点を目指す。  
(前に投げるパスは、今回はなしとする。)
- ・ 攻めのチームが全員で「レディ・ゴー」と声を出してスタートする。
- ・ 「レディ・ゴー」の声の後に、守りのチームはフラッグを取りにスタートラインの中に入ってもよい。
- ・ 攻めのチームのボールを持った人が「フラッグをとられた」「サイドから出た」「ボールを落とした」地点のゾーンの点数が、攻めのチームの得点となる。
- ・ 1回戦につき、3回攻撃をしたら攻守交代する。

### ③ 場の設定

- ・ 攻める方向は一方向のみとし、分かりやすくした。
- ・ 12m×25mを2面準備する。



## 5 単元目標

- (1) お互いに協力し合いながらゲームを進める。ルールを理解し、安全に気をつけて練習やゲームをする。  
(運動への関心・意欲・態度)
- (2) みんなが楽しめるルールで、一人ひとりの持ち味が活かせるような作戦を工夫する。  
(運動についての思考・判断)
- (3) 攻め(ランプレー)、守り(ガード、フラッグをとる)などの、特性に応じた簡単な動きを身につける。  
(運動の技能)

## 6 評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>○フラッグフットボールに関心を持ち、話し合いや運動に取り組もうとする。</li> <li>○用具の準備や片づけを進んで行うことができる。</li> <li>○勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って運動をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分やチームのめあてをもつことができている。</li> <li>○作戦を考えたり、作戦を成功させるために工夫したりすることができる。</li> <li>○ゲームや練習を振り返り、チームや自分のよかった点を評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラン、ブロック、フラッグをとるなどの特性に応じた動きができている。</li> <li>○作戦に応じた動きができている。</li> </ul>

## 7 単元の学習と評価の計画

次	時	指 導 過 程 (評価方法)		
		主な学習活動	教師の働きかけ	主な評価の観点
第一 次	1	<p>オリエンテーション</p> <p>学習のねらいや進め方を知り単元全体の見通しをもつ。</p> <p>○フラッグフットボールのルールを知る (ゲームの特徴についてなど)</p> <p>○フラッグの付け方, 扱い方を知る。</p>	<p>○学習のねらいや進め方について説明する。(フラッグフットボールの面白さ, 1単位時間の進め方, 単元全体の流れ)</p> <p>○フラッグが体の横に, 長さは膝のところまでくるように付けさせる。</p>	<p>○フラッグフットボールに関心をもち, 話し合いや運動に取り組もうとする。【関】</p>
	2	<p>○チーム分けを発表する。</p> <p>○基本となるゲームを覚える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっぽとりゲーム (1対1)</li> <li>・しっぽとりゲーム (チーム対抗)</li> <li>・ボール運びゲーム (チーム対抗) など</li> </ul>	<p>○ゲームをしながらフラッグを取ること, 取られないように逃げることに慣れさせる。</p>	<p>○自分やチームのめあてをもつことができている。【思】</p>
第二 次	3	<p>フラッグフットボールのルールをおぼえよう。</p> <p>○準備運動</p> <p>○しっぽとりゲーム</p> <p>○ボール運びゲーム</p> <p>○学習課題の提示</p>	<p>○フラッグの取り方や取られないようにするにはどうしたらよいかを「しっぽとりゲーム」などの遊びの中から発見させる。</p>	<p>○作戦を考えたり, 作戦を成功させるために工夫したりすることができている。【思】</p>
	4	<p>○チームで練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手をかかわして走る。</li> <li>・相手の動きをよく見て守る。</li> </ul> <p>○チームで簡単な作戦を考える</p> <p>○ゲーム (3対2)</p> <p>○学習のまとめ</p> <p>○後片づけ</p>	<p>○攻撃3人の中で, ボールを保持している者が, フラッグを取られずラインまで走り抜けると得点であることを知らせる。</p> <p>○ゲームの前後に, 自分や友達の動きや役割について話し合う時間をとらせる。</p>	<p>○ラン, フラッグをとるなどの特性に応じた動きができている。【技】</p>

第二次	5	<p>ハンドオフやフェイクなどの動きを身につけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動</li> <li>○学習課題の提示</li> <li>○ハンドオフ、フェイクという攻め方について知る。</li> <li>○チームで練習 (ハンドオフ・フェイク)</li> <li>○ゲーム(3対2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハンドオフ、フェイクの2つの動きを繰り返し練習させ習得させる。</li> <li>○より楽しめて一人一人が活躍できるようなルールがないかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハンドオフ、ランなどの特性に応じた動きができています。【技】</li> <li>○進んで話し合いや運動に取り組もうとする。【関】</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のまとめ</li> <li>○後片づけ</li> </ul>		
本時	7	<p>ハンドオフとフェイクの2つの動きで、たてた作戦を成こうさせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動</li> <li>○学習課題の提示</li> <li>○ルールの確認</li> <li>○チームごとの作戦を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2つの動きをアレンジしながら作戦を立て、それが有効かどうか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラン、パス、などの技能を身につけて、作戦や状況に応じた動きができています。【技】</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦をためす練習(チームごと)</li> <li>○作戦をためすゲーム(3対2)</li> <li>○学習のまとめ</li> <li>○後片づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボールを持たない人も「おとり」や「ガード」などの役割があることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで話し合いや運動に取り組もうとする。【関】</li> <li>○作戦を考えたり、作戦を成功させるために工夫したりすることができる。【思】</li> </ul>
第三次	9	<p>フラッグフットボール大会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動</li> <li>○大会のねらいの確認</li> <li>○チームの作戦を確認する。</li> <li>○試合をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを生かし、自分たちで係を分担してゲーム大会をする。</li> <li>○自分たちで賞を決めて、がんばったところをお互いに認め合うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って運動をすることができる。【関】</li> <li>○作戦や状況に応じた動きができています。【技】</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームごとに試合のまとめをする。</li> <li>○後片づけ</li> </ul>		

## 8 本時の目標

- ラン，パス，などの技能を身につけて，作戦や状況に応じた動きができる。【技】
- 作戦を考えたり，作戦を成功させるために工夫したりすることができる。【思】

## 9 本時の学習展開

学習活動	教師のはたらきかけ	主な評価の観点
1. 準備運動をする  2. 本時の課題を確認する。	○ 手足を十分ほぐし，体を温めるような運動をする。  ○ 前時までの学習をふり返り，めあてを知らせる。	
「ラン！」 「ガード！」 「おとり！」 自分の動きの意味を考えて動こう。		
3. ルールの確認をする。  4. 作戦を確認しチームで練習をする。  5. 3対2のゲームをする。  6. 学習のまとめをする。  7. 後片づけをする。	○ 必要であれば一旦止めて，チーム指導や全体指導し，助言する。  ○ ハドルでしっかりと自分の役割や動きを確認させる。	○ 作戦を考えたり，作戦を成功させるために工夫したりできている。【思】  ○ 個々の役割に応じた動きができている。【技】